

# ● 景観形成計画

景観形成計画は、道路や公園などの公共施設と街なみを形成する建築物の整備を進めていくための計画です。

## ● 景観形成計画の目標

### 里山と川に包まれ 歴史が息づき 文化の香る魅力あるまち

まちを包む里山と川、暮らしに根ざした歴史・文化が重なって紡ぎだされる味わい深い風景を活かし、その印象的な姿や音、光、それらの記憶までも満喫できる、魅力あるまちをめざします。

こうした魅力ある風景を活かした商業などの生業（なりわい）や文化を楽しめる生き生きとした暮らしの舞台・安心な暮らしの舞台となるまち、そして、多くの来訪者も迎えて心のふれあいや賑わいが広がっていく活力あるまちをめざします。

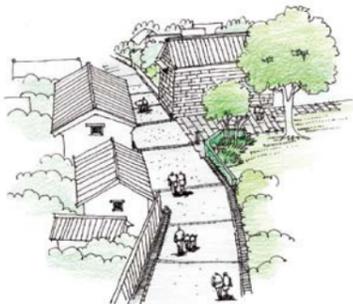
## ● 景観形成計画図(イラストはイメージです。)

街なみと一体となった魅力ある道をつくる  
～商店街や駅前を結ぶ道～

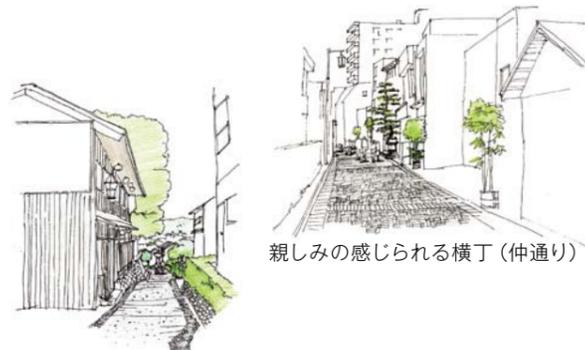


青梅宿の街なみ散策を楽しむ道(青梅街道) 多摩川・丘陵へ向かう伸びやかな印象の道(都市計画道路)

～こじんまりとした路地や坂道～

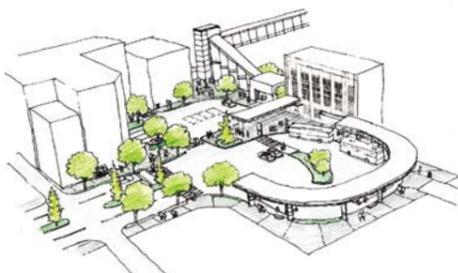


丘陵の四季を楽しみ交流拠点をめぐる道(七兵衛通り)



眺めを活かした魅力ある坂道(呑龍横丁)

くつろぎ、交流を楽しむ  
公園・広場空間をつくる



玄関口にふさわしい、ゆとりのある歩行者空間(青梅駅前広場)



史跡と調和した公園(森下児童遊園)

眺めも楽しめる公園(西分町3丁目児童遊園)

まち全体の風景の魅力を高め  
街なみを整える

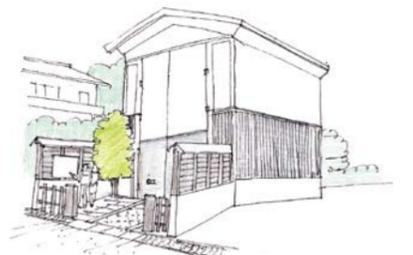


歴史的資源を活かした街なみづくり(交流拠点)



趣ある雰囲気を大切にした建物の活用(町屋・店蔵)

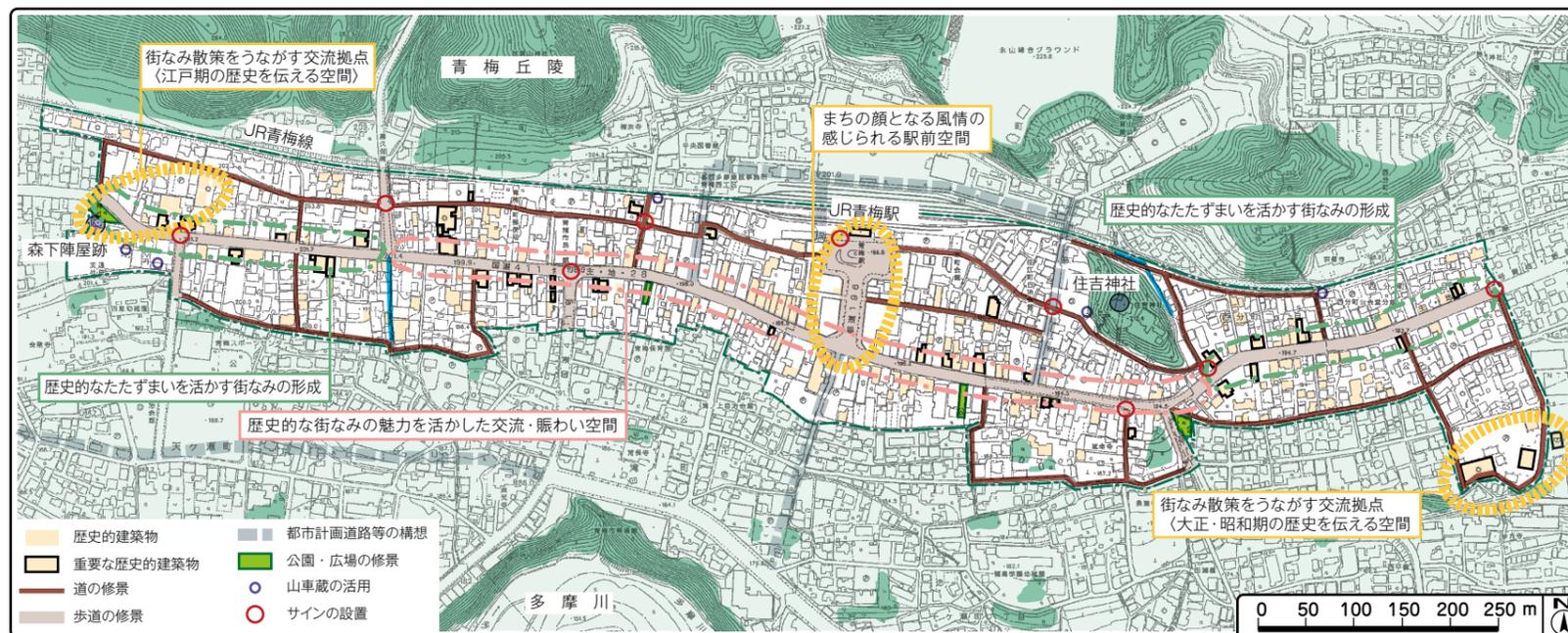
歴史・自然資源を  
暮らしに活かして育てる



地域に根ざした祭り・交流のシンボル(山車蔵)



周辺景観になじむ自然資源の活用(ついでや水路)



## ● 景観形成計画の方針

### 住んでいる人が誇りを持てる暮らしの風景づくり

住んでいる人たちのそれぞれの価値観を大切にしながら、わがまちへの誇りを感じられる様々な風景資源を地域の共有資産として大切にします。

時代を経て受け継がれてきた「本物の魅力」を大切に守り、かつての姿を伝えながら現在の暮らしに活かすものと新たにつくりだすものとの調和を図り、暮らしを楽しむ舞台にふさわしいまちの風景を育てます。

風景づくりは、将来に誇れるまちの資産をつくり、次の世代に受け継いでいくことであり、志ある人の輪を広げ、住民、事業者、行政が連携して地域全体で取り組みます。

### 青梅宿の風情を活かした賑わい・交流のまちづくり

青梅宿の風情を活かして、市民はもとより、多くの観光客や青梅ファンを迎え、青梅宿や周辺を巡り、交流を楽しむまちとしての賑わいを取り戻します。

青梅宿の趣のある街なみや人をもてなす店先づくり、ゆっくりと散策・休憩できる空間づくり、訪れた人も参加してまちを楽しむ体験づくりなどにより、来訪者を積極的に迎え入れます。

多くの人を誘い、魅力ある風景を活かした新たな交流拠点とこれらをつなぐ道を整え、地域全体を結んで賑わいのあるまちづくりを進めます。